

第54回日本
水墨画展

梅本さん(鶴岡市)文科大臣賞に輝く

サークル・如月会 白旗さん(鶴岡市)青稜賞受賞
鶴岡支部所属

水墨画愛好家でつくる水
墨画サークル「如月会」の



梅本 幸仙さん

鶴岡支部に所属する会員2
人が、第54回日本水墨画展
で最高賞の文部科学大臣賞
などの上位入賞に選ばれた。
24日まで東京都美術館で展
示している。

如月会は鶴岡市を本部に
1981年に設立。墨絵の

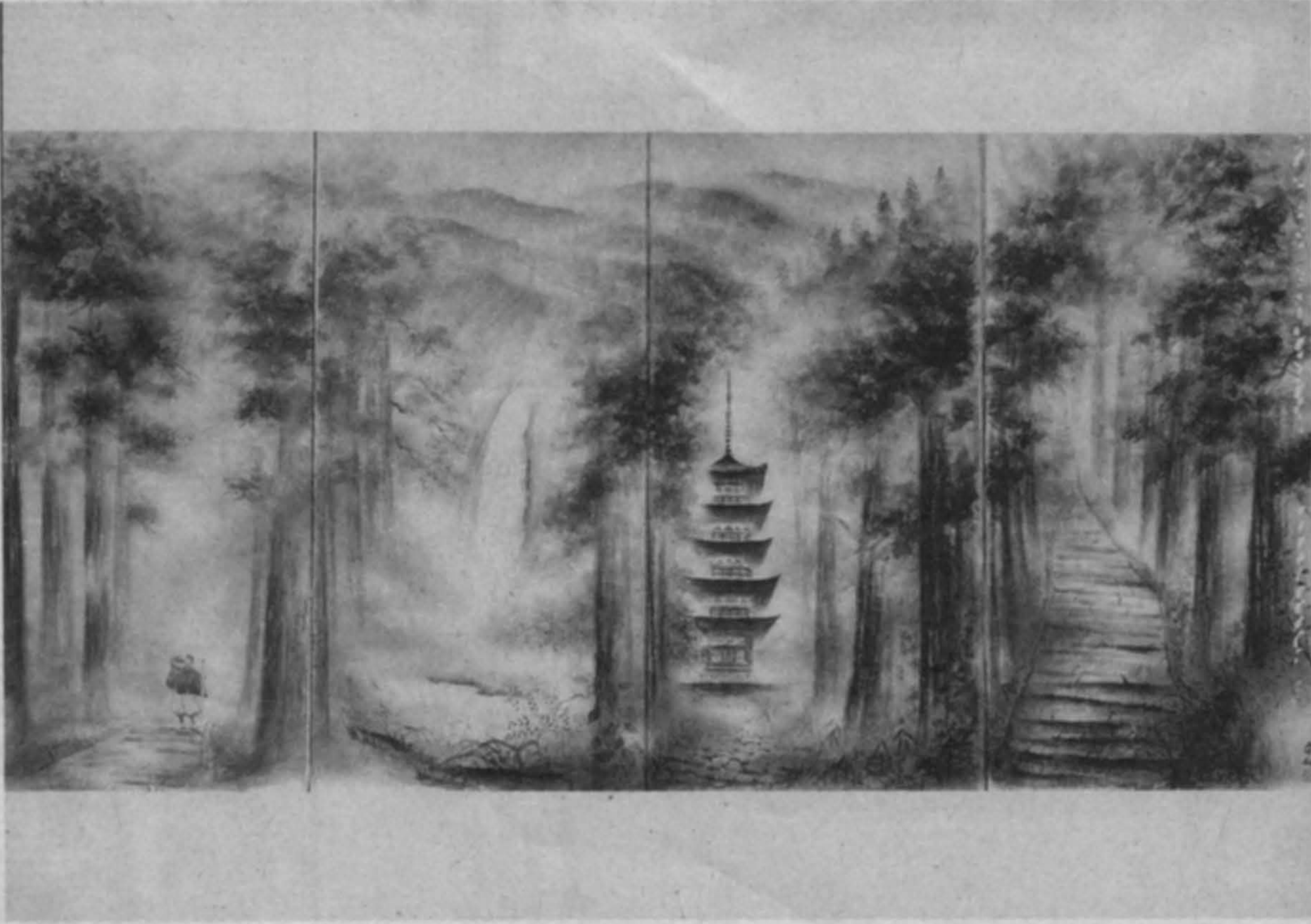
濃淡を生かした技法を中心
に制作している。現在は鶴



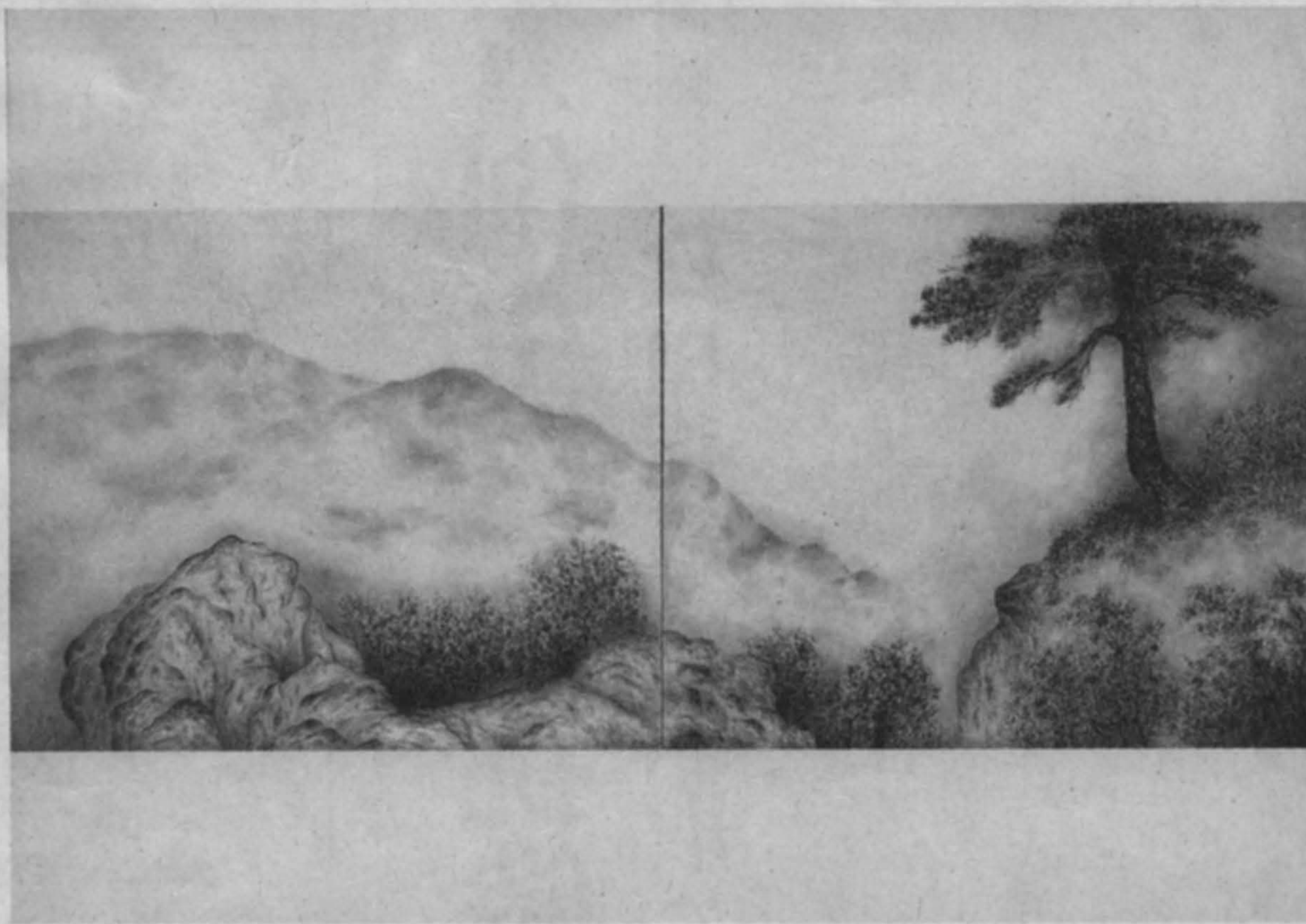
白旗 竹萌さん

岡、酒田、米沢、仙台、新
潟の各支部が独立し、各支
部で活動している。

今年、庄内の両支部から
は、10点を出品。このうち
3点が入賞し、上位入賞と
して鶴岡支部会長の梅本幸
仙さん(68)＝本名・幸巳、



梅本さんの作品「森」



白旗さんの作品「老松」

鶴岡市大山二丁目IIの「森
蔽」(四曲屏風)が文部科
学大臣賞、会員の白旗竹萌
さん(87)＝本名・繁、同市
鳥居町IIの「老松」(高さ
85センチ、横208センチ)が5位
相当の青稜賞に選ばれた。

梅本さんの作品は、出羽
三山神社に続く山道を中心
に、杉林にたたくむ羽黒山
五重塔や近くを流れる秋川
の滝、ほら貝を吹く山伏な
どを各曲に描き、自然の奥
深さを表現。霧吹きで墨を
散らして霧を表現したり、
墨の濃さの違いで杉林を立
体的に描くなど水墨画の技
術が詰め込まれている。現
地での下書きから10年の歳
月を経て完成した。白旗さ
んの作品は、山の頂上に1
本だけ生える松の木を描い
た空想作品。制作期間は約
3カ月。荒々しい岩肌やき
め細やかな雑木を丁寧に表
現した。

梅本さんは「一つの目標
をようやく達成できた。日
本特有のわびさびを表現で
きる水墨画の魅力を、外国
にも伝えていきたい」、白
旗さんは「受賞できてとて
もうれしい。冬期間の生き
がいになっているので、手
足が動く限り続けていきた
い」と受賞の喜びを語っ
た。